

情報公開文書書式

研究課題名	訪問リハビリテーションを2年以上継続している利用者の傾向
所属部署	在宅支援リハビリテーションセンターぎんや 訪問リハビリテーション銀屋
研究責任者(職名)	三浦恭平
研究期間	承認日 ～ 2021年 3月 31日
研究目的と意義	訪問リハビリテーションは一定期間で目標を達成し、社会参加や通所系サービスにつなげることが重要となっています。しかし、実際には社会参加や通所系サービスに結び付かない利用者様もあり、訪問リハビリテーションの長期化が問題となっているものの、その実態は調査されていません。そこで本研究では、訪問リハが長期化している利用者様の特徴を明らかにすることで、訪問リハ介入早期からの関わりの一助とすることを目的としています。
研究内容	●対象となる患者様 対象は2017年1月1日から2017年12月31日の間に訪問リハビリテーションを開始した利用者様が対象です。
	●利用する情報 訪問リハ開始日、訪問リハ終了日、訪問リハ終了理由、訪問リハ開始時の情報として、性別、年齢、診断名、要介護度、障害高齢者の日常生活自立度、認知症高齢者の自立度、訪問リハ頻度、主介護者の属性(性別、続柄)、車横づけの可否、通所系サービス利用の有無、起き上がり・立位保持の自立度、Barthel index, Frenchay Activities Index ※本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。
	●研究方法 上記情報を電子カルテより収集し、個人が特定できないように匿名化します。2年以内に目標達成し終了した利用者様と、2年以上訪問リハを継続している利用者様の2群に分け、利用する情報を比較します。
問い合わせ先	所属：一般社団法人是真会 臨床研究開発部 (PACS) 西岡・高橋 住所：長崎市銀屋町4-11 電話：095 (818) 2002 受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)